

中小の欧州販路開拓支援

セールスレップ配置

ISICO

石川県産業創出支援機構（ISICO）は、欧州への輸出に意欲的な県内中小企業の海外販路開拓を積極的に支援するため、日本貿易会が設立したNPO法人「国際社会貢献センター（ABIC）」会員の西岡宏さん（金沢ドイツ・デューセルドルフ在住）を「海外セールスレップ」（代

表）として委嘱した。期間は来年八月末までの一年間。

県とISICOが本年度、全国最大となる四百億円の基金に拡充した「いしかわ中小企業チャレンジ支援ファンド事業」の一環。欧州市場で県の地酒や加工食品、工芸品などの販売促進活動を展開するほか、県

ISICO理事長の谷本正憲知事（右手前）から委嘱状を受け、西岡宏さん（石川県庁で



内企業に対して交渉先などの紹介や助言を担う。ABICと連携し、セールスレップを配置するのは全国で

初めての試み。

ISICO理事長の谷本正憲知事が四日、県庁で西岡さんに委嘱状を手渡し、「国内の販路開拓とは事情も違う。県内企業の道案内役を務めていただければ」と期待。西岡さんはチヨロや梅酒のドイツ法人取締役社長などを歴任し、現在は日本貿易振興機構（ジェトロ）のデューセルドルフ事務所で農林水産・食品コイディネーターを務めており「自信はある。頑張つて務めたい」と応じた。

欧州市場開拓を狙い、パリなどにアンテナショップを置く他府県もある中で、県の徳田博商工労働部長も「現地事情に精通し、独自の情報網も持っている」と期待を寄せる。西岡さんは「石川県は水や食がおいしい。発酵調味料もしっかりしている。県内企業にはジエトロのように使っていたらできれば」と話した。

（田嶋豊）

北陸中日新聞 2018.09.05(朝)